

【先-19】水インフラ施設の拡張型民間委託の検討調査 (対象箇所:石川県かほく市)

【実施主体】かほく市

平成26年度

調査目的・これまでの経緯

かほく市では、合併市特有の多くの水インフラ施設を有していることから管理の効率化が課題となっていたため、水道、下水道、農業集落排水の施設管理について、一体的に民間委託を実施しているが、今後、老朽化施設が増大し、改築更新のピークが集中する恐れがある。

そのため本調査では、更なる委託業務範囲の拡張の検討、及び将来のコンセッション方式の導入も視野に入れた拡張型民間委託へのロードマップ作成について検討することとした。

平成22年4月 包括的民間委託の導入(3年、下水、農集それぞれ)
平成25年4月 事業横断型民間委託の導入(5年、水道・下水・農集)

施設の概要

【下水道事業・施設の概要】

- ・人口普及率 : 99%
- ・経過年数 : 処理場約24年、管渠約40年
- ・管渠延長 : 約229km(汚水)+約17km(雨水)
=約246km
- ・主要施設 : 処理場2箇所、MP32箇所、ポンプ場3箇所

【水道事業・施設の概要】

- ・経過年数 : 約58年
- ・主要施設 : 浄水施設2箇所、送水施設4箇所、配水施設7箇所、深井戸11箇所

【農業集落排水事業・施設の概要】

- ・経過年数 : 約27年
- ・管渠延長 : 約50km
- ・主要施設 : MP46箇所、処理場15箇所

調査結果

1. 現行の包括業務委託の評価

【レビュー】: 委託した業務が確実に遂行され、かつ要求水準を維持している。

【効果】: 3事業一体による包括民間委託業務は、コスト削減や水道施設の運転工夫による水質向上、農集施設の水質向上・污泥発生量の抑制が認められ、導入の目的であった『維持管理レベルの向上』が図れた。

【今後のあり方】: 現行包括業務の補修範囲の拡大、契約書へのインセンティブ条項の追加が望まれる。

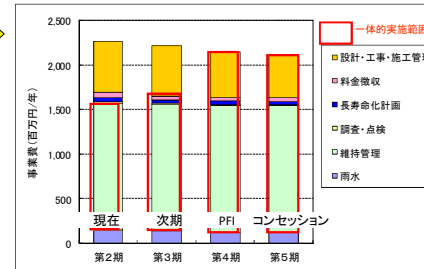
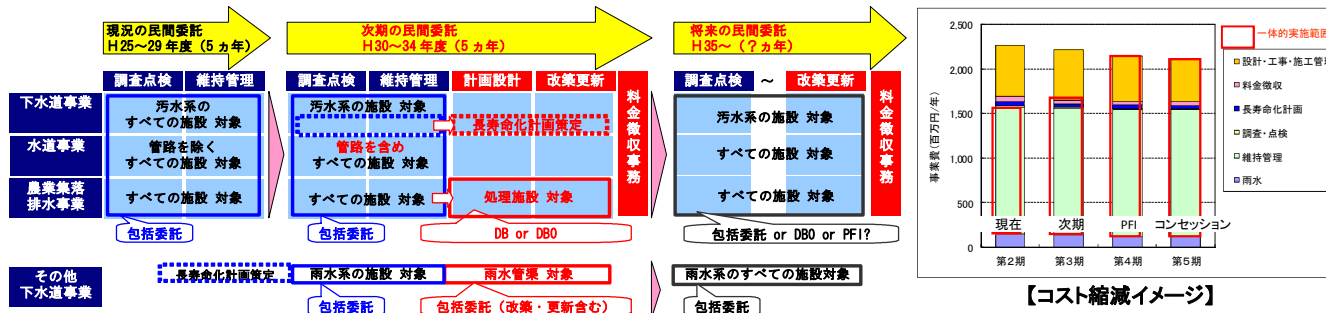
2. 業務範囲の拡張およびスキームの検討

・「計画・設計・工事・施工管理」「管理と長寿命化計画策定」の一体化(委託業務範囲の拡大)が効率的。更に、料金徴収を組み込み、本調査で明らかになった市職員の人手不足を解消も目指す。

・管理と長寿命化計画をセットとし、民間事業者が中長期の改築・更新ボリュームを的確に把握することで、PFI、コンセッション導入に備える。ただし、現段階ではコンセッション導入に以下の課題がある。

【課題】 水道事業一括の民間譲渡、人口減少・料金収入減少による民間リスク増大、他市町との広域連携の可能性、污泥処理施設の採算性等

・将来的なコンセッション導入も踏まえた一体的な民間委託に至るまでのロードマップを以下の通り検討した。



【コスト削減イメージ】

今後の展望

○今後の予定

- 平成27~29年 管路長寿命化計画策定
- 平成28~29年 包括業務発注準備 (専門委員会の立上げ)
- 平成30~34年 次期包括業務

○事業化にあたっての課題

- ・多数の業者が参加する発注方式
- ・国庫補助対象事業との連携
- ・下水道法改正に合わせた点検・調査計画の策定(要求水準書に盛り込む)
- ・雨水管渠の長寿命化計画策定のための評価方法
- ・下水道事業管理計画との整合
- ・公共施設等総合管理計画との整合

上記課題については、今後、専門委員会等や関係機関と調整することにより解決を図る。